

# mini bucket basket kit

## キットの内容



ラフィアブレード



とじ用ラフィア  
&  
とじ針



インナー巾着  
(単体では使用できません)



レザーハンドル  
&  
レザーコード

## はじめに



表面

こちら側を見ながら時計回りにとじていくイメージです



裏面

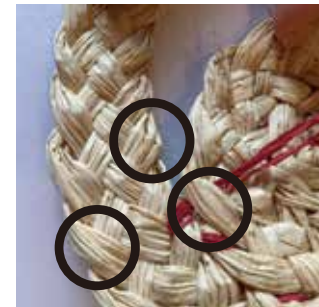
バッグの内側になる面です



とじ用  
ラフィア

短くなったら

ひとつ結びで繋ぐ  
(ご存知の方はハタ結び)  
わかりやすくする為、  
赤色のラフィアを使用します



○印の部分を「目」と読んで  
説明していきます

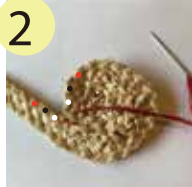
## 作り方

1



とじ針でとじていきます。目は1のように下からひろいます。すでにとじられている方を下の段、これからとじる方を上の段と呼び説明します。基本的には2のように隣り合う同じ色の●どうしをとじていきますが…

2



底部は平らにする必要がある為、3のように★印と●印をとじるところを、★印の目はひろわずに(飛ばす)、●印と●印をとじるように適宜調整する必要があります。平らなところに底部を置いてどの目とどの目をとじると平らになるか確かめるようにするとわかりやすいです。

3



4



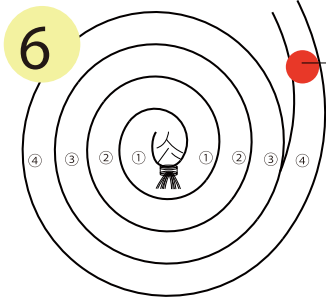
上の段の目を飛ばさずにとじていくと、4のように平らではなく、立ち上がってきてしまいます。

※平らにするために飛ばすのは上の段です。下の段は全ての目をひろいます。

5



5は4段目までとじたところ。●印は目を飛ばしたところです。何個置きなどの規則性はありませんが、こんなペースで目を飛ばしていると参考にしてください。



6

立ち上げ位置

バッグの内側を見て、ブレードの編み始まりの段を中心に4周とじたところで立ち上げます。ブレードの編み始めを時計の6時の方向にした時に2時のあたりです。円の直径はだいたい17cm前後になっています。

裏面 (バッグ内側)



7

表面を見ながら直角に立ち上げるようにして、ここからは目を飛ばさずにとじ進みます。上の段の目を飛ばすことにより平らになるようにしてきましたが、ここからはまっすぐに立ち上がるような目を選んで垂直に立ち上げます。すべての目をひろくと、窄まり気味になってしまう場合は、上の段を目を適宜飛ばします。



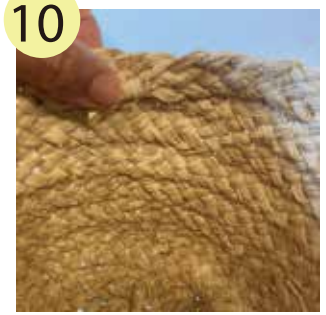
8

ある程度のかでしっかりととじることにより、とじ用のラフィアは見えなくなります (力加減の目安)。



9

立ち上げてから1周とじ終わったところ (写真9)。このまま7周まで同じ要領でとじていきます。できあがった底部の大きさによって7周より少ない (多い) こともあります。



10

とじ終わりの処理：ブレードの編み終わりを少し内側に押し込むようにして本体にくるくると3~4回程度巻き止めます。



12

最後はかごに数縫って、とじ用ラフィアをカットします。玉結びは必要ありません。実際のとじ用ラフィアはナチュラルカラーですので、写真ほど目立ちません (写真12)。

ハンドル付け



付属のレザーをハンドルの穴に通し、内側で2回固結びをしてください。

